

2024/01/07

文科省委託
在外教育施設の特色化プログラム促進事業
＜ AG+ ＞
教育DX推進プログラム
研究テーマ4 イベント部会

AG+の研究

研究テーマ4

多様化する補習授業校のニーズに対応した
グローバル人材育成のためのプログラム開発と
補習授業校間のネットワークの形成

部会研究「イベント部会」

日本語を使い、伸ばす機会となるイベントの開発

日本語力の向上

子どもたちの日本語力向上への
意欲。自己肯定感の向上

「高度グローバル人材」の育成

部会研究「イベント部会」

日本語を使い、伸ばす機会となるイベントの開発

5年後のビジョン

日本語を学ぶモチベーションを高めるイベントが複数の補習校を結んで継続的に行われる。

22年度

5年後を見据えた中で、現状の把握、アイデア・構想の抽出、来年度以降の見通しの構築

本年度(23年度)

本年度(23年度)

複数の補習校を結んでのイベントを1つ実施し、
評価・検証を行い、次年度につなげる。

本年度実施のイベント

(1) 基本的な考え方

- ◎各補習校の教育課程内での単元・学習活動をベースに
- ◎実施時期(9月以降)に行われる単元で、イベントを

(2) 本年度実施のイベント

- ◎小学校グループ、中学校グループをつくりそれぞれで実施
- ◎国語科の教育課程上の単元に沿ってイベントを考える。

① 小学校グループ : テーマ「自分の町の魅力を知ってもらおう」

イベントA: ホリデークイズ大会 イベントB: 国語科の成果物を
ドライブ等にアップし、それを他の補習校で見合いコメントを交流。

② 中学校グループ : テーマ「魅力を発信～私の町の美術館」

居住地の美術館の絵画を鑑賞し、その魅力を「鑑賞文」として記述(シカゴ)。発表を録画したものを他補習校(ケルン)で視聴し鑑賞文に対するインタビューを国語科単元「聞き上手になろう」として実施

本年度(23年度)

複数の補習校を結んでのイベントを1つ実施し、
評価・検証を行い、次年度につなげる。

【 +1の取り組み 】

☆ 「イベントアイデア集 2023」の作成

◎部会員から出された豊富なイベントアイデアを、「アイデア集」としてまとめる

◎年度末までにAG+ドライブにアップし、発信を広報。

イベント部会 部員の先生方

氏 名	勤 務 校
イングバー リかこ	ケルン(ドイツ)
荻原 綾 (アイデア集副リーダー)	バトンルージュ(アメリカ)
金谷 紀代子 (アイデア集リーダー)	シカゴ(アメリカ)
丸山 美江 (中学グループリーダー)	シカゴ(アメリカ)
山栴 恭子	デュッセルドルフ(ドイツ)
米澤 みどり	サンフランシスコ(アメリカ)
リップ 雅映子 (小学校グループリーダー)	ブルーミントン(アメリカ)